

## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東  
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,150	6.6	858	14.7	886	13.5	595	6.2
29年3月期第3四半期	10,459	4.9	748	5.9	780	6.0	560	20.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 653百万円 (6.9%) 29年3月期第3四半期 611百万円 (31.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	98.66	96.79
29年3月期第3四半期	91.00	89.88

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	13,390	9,963	73.6	1,633.54
29年3月期	13,381	9,551	70.8	1,569.39

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,860百万円 29年3月期 9,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	6.6	1,300	4.1	1,330	3.4	880	△1.7	145.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	7,636,368株	29年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,599,851株	29年3月期	1,599,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	6,036,580株	29年3月期3Q	6,163,562株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が改善し、雇用・所得環境の改善が続いていることから、個人消費も底堅く推移しております。東アジアでの地政学的リスクの高まりはあるものの、海外経済も米国や欧州を中心に、企業業績の回復や雇用情勢の改善等を背景に、緩やかな回復と拡大基調が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、自動車関連システムやIOT関連のシステムを中心に、IT関連の設備投資が活発に行われ好調に推移しております。そのためIT技術者不足が顕在化し、各社で求人要求が高まってきていることから、採用コストや外部委託コストを上昇させる要因となっております。

このような環境の中で、当社グループでは、市場の需要に応えるため、良質なビジネスパートナーの確保と並行して、将来の持続的な発展を見据えた新卒採用活動の強化や人材育成に注力するほか、CS向上を目的とした全社を挙げての品質向上運動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,150百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益につきましては858百万円（前年同期比14.7%増）、経常利益につきましては886百万円（前年同期比13.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては595百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (イ) システムコア事業

車載機器関連業務の受注等が引き続き増加し慢性的に技術者が不足する中、受注拡大のためビジネスパートナーを有効活用したことなどから、売上高は2,326百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は601百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

#### (ロ) ITソリューション事業

既存の案件は順調に推移したものの、ビジネスパートナーも含めた技術者不足により新規受注が予定通り拡大出来なかったことや、パッケージソフトウェア開発が長期化していることなどから、売上高は2,889百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は395百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

#### (ハ) ネットワークサービス事業

新卒採用者や中途採用者の積極的投入をおこなっており、受注待機によるロス等もなく順調に推移していることなどから、売上高は5,933百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は1,094百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債および純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、13,390百万円と前連結会計年度末に比べ8百万円の増加となりました。これは主に、流動資産において、有価証券が498百万円、仕掛品が187百万円、無形固定資産が164百万円それぞれ増加した一方で、流動資産の現金及び預金が312百万円、受取手形及び売掛金が224百万円、固定資産の投資有価証券が255百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

##### (負債)

負債は、3,426百万円と前連結会計年度末に比べ402百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、流動負債その他に含まれる未払費用が150百万円、同預り金が199百万円それぞれ増加した一方で、流動負債の未払法人税等が242百万円、賞与引当金が405百万円、流動負債その他に含まれる未払金が132百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

##### (純資産)

純資産は、9,963百万円と前連結会計年度末に比べ411百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により595百万円、その他有価証券評価差額金が38百万円、退職給付に係る調整累計額が18百万円、新株予約権が25百万円それぞれ増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が265百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月2日に公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,363	4,050
受取手形及び売掛金	3,106	2,882
有価証券	500	998
商品	3	-
仕掛品	121	308
原材料及び貯蔵品	0	1
その他	555	554
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,650	8,795
固定資産		
有形固定資産	601	589
無形固定資産	218	382
投資その他の資産		
投資有価証券	3,366	3,111
その他	567	532
貸倒引当金	△24	△22
投資その他の資産合計	3,910	3,622
固定資産合計	4,730	4,594
資産合計	13,381	13,390
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	213	183
短期借入金	40	100
未払法人税等	315	72
賞与引当金	919	513
工事損失引当金	2	5
その他	922	1,110
流動負債合計	2,413	1,985
固定負債		
退職給付に係る負債	1,146	1,190
資産除去債務	44	45
その他	224	205
固定負債合計	1,415	1,441
負債合計	3,829	3,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	7,230	7,560
自己株式	△946	△946
株主資本合計	9,370	9,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	315
退職給付に係る調整累計額	△173	△154
その他の包括利益累計額合計	103	160
新株予約権	72	98
非支配株主持分	5	3
純資産合計	9,551	9,963
負債純資産合計	13,381	13,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,459	11,150
売上原価	8,318	8,819
売上総利益	2,140	2,331
販売費及び一般管理費	1,392	1,472
営業利益	748	858
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	14	7
その他	5	6
営業外収益合計	34	28
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	0	—
その他	0	—
営業外費用合計	1	0
経常利益	780	886
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	61	—
受取保険金	—	4
特別利益合計	61	6
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	837	893
法人税等	276	296
四半期純利益	561	596
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	560	595

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	561	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	38
退職給付に係る調整額	18	18
その他の包括利益合計	49	57
四半期包括利益	611	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	610	652
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,065	2,951	5,442	10,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	2	10
計	2,065	2,960	5,444	10,470
セグメント利益	499	379	970	1,848

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,848
セグメント間取引消去	79
全社費用（注）	△1,179
四半期連結損益計算書の営業利益	748

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。



Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,326	2,889	5,933	11,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	59	14	74
計	2,326	2,949	5,948	11,224
セグメント利益	601	395	1,094	2,091

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,091
セグメント間取引消去	82
全社費用（注）	△1,315
四半期連結損益計算書の営業利益	858

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。